

松本市市民活動 サポートセンター通信 NO.27

発行元：松本市市民活動サポートセンター
〒390-0874 松本市大手 3-8-13
松本市役所大手事務所 2階
TEL/FAX：0263-88-2988
E-mail：support-center@support-center.jp
URL：http://www.support-center.jp

サポートセンター22年度事業のご案内

詳細は、サポートセンター通信やHPで随時お知らせしていきます

★ブログ作成講座

【8月】

昨年に引き続き、「マツアズ」と「ナガブロ」のサイト上に実際にブログを制作する実践講座です。

募集

活動紹介のためのHPリンク集「市民活動Webひろば」に参加する団体を募集中！

★ファシリテーター養成講座

【10月】

協働を円滑にすすめる上で求められるファシリテート力を磨く、初心者向け講座です。

★助成金獲得講座

【11月・1月】

元気づくり支援金などの要綱解説から、申請書の書き方の演習まで、助成金獲得の実践力をつける講座です。

★こども活動体験講座

【随時】

子どもたちが、登録団体のプログラムに参加し、市民活動や社会貢献について学ぶ講座です。

募集

体験プログラムを提案する団体を募集中！

★しみんサロン「子育て・教育」

【6月・8月・11月・2月】

今年は「若者の自立」をテーマに、不登校やニートなどの支援活動や関係者からの報告などをもとに、若者の現状について考えます。

★ふれあいサロン 【7月・9月・12月・3月】

障害者の手作り品や施設の自主製品の販売と併せて、販売後の交流会も好評です。今年は夏「納涼」、秋「収穫祭」、冬「クリスマス」、春「ひな祭り」の季節感も演出し、年4回開催します。

★ヤングサロン「しゃべり場」

【不定期】

まちづくりに興味を持つ若者が集まり、現代社会の課題等についてフリートークしています。

★市民活動ひろば

【9月・1月】

市民活動のネットワークづくりや協働を推進するため異分野・異業種の交流会を開催します。

募集

ひろばを企画する協働団体を募集中！

市民活動フェスタ2010 in松本 7月24日(土) 会場：あがたの森 講堂棟

私の町の市民活動を

知ろう！語ろう！つなげよう！

一緒に活動する仲間を増やすチャンス！

参加団体募集!! 5月31日締切

＜参加のカたち＞

- ①プレゼン大会
- ②ポスターセッション
- ③ワークショップ
- ④ステージパフォーマンス
- ⑤販売コーナー



※ 詳細は、実行委員会発行の団体募集概要をご覧ください。

「さあ、ぼくらの学校を作ろう！」

今年のフェスタは、有志による実行委員会を立ち上げ、自分たちの手で作りあげていこうとしています。

そこで、副題に「ぼくらの学校」と名前をつけました。市民活動フェスタというタイトルでは、イメージがつかみにくく、市民が会場に足を向けにくいという意見からです。

会場である校舎の持つ「場の力」も利用して、それぞれの団体が提案し、体験し、学んできたことを他の活動団体も含めた市民に伝えていくという趣旨です。

学校の文化祭のように楽しみながら自分たちのことを紹介し、他の団体のことも知って、新たなコミュニケーションが生まれることを期待します。

(市民活動フェスタ実行委員会)

このコーナーでは、松本市近郊でさまざまな活動をしている団体をご紹介します！！
今回、お話をうかがったのは、「すこーれお母さんの学習会」と「水と緑の会」の両団体です。

すこーれお母さんの学習会

『スコーレ家庭教育振興協会』は1980年に設立された文部科学省認可の公益法人であり、生涯学習団体として30年の歴史を重ねてきた。

スコーレとは、現在のスクールの語源となったギリシャ語であり、「学び」「遊び」「余暇」という三つの意味を表している。

松本市の「すこーれお母さんの学習会」は全国に1,000カ所ほど存在する拠点の一つとして、塩尻市と合わせて現在40名の会員が活動している。いつでも、誰でも自由に参加できるということをモットーに「共に生き、共に学び、共に幸せを」を基本理念として、体験学習・共同学習を通して楽しく豊かな生活の実現のため、様々な事業や講座を実施している。具体的には、家庭教育の大切さを学ぶ親力アップセミナー、ミニサロンや、子育てについての体験談発表会など会員だけでなく広く住民の参加も募ってそれぞれ開催している。また、人としての生き方のマナーを学び、豊かな人生を送るためにテキストの読み合わせをする早朝研修も行っている。

◇連絡先《代表》 太田 千恵子
TEL 080-5410-0261

これらの講座・事業は、子育てをしているお母さんたちの力強い味方となっているが、「若いお母さんの参加は多いけれども、出来れば中学生ぐらいの子どもさんのいる親にもっと参加してもらえたら」と語る松本地区代表の太田千恵子さん。さらに「会の活動の中で主体的にリーダーシップをとる仲間がほしい」とも。また「今年11月には、いっそう豊かな人生を送るための『人生学講座』が開かれるので、沢山の方に来てほしい」と希望している。



親力アップセミナー
《4/15 あがたの森文化会館》

水と緑の会

◇連絡先《会長》 常田 長時
TEL 0263-35-5781

『水と緑の会』は、身近に残された豊かな自然を次世代の子どもたちに最大限残したいと、公民館の環境講座の受講生を中心に、20年前に発足した。現在の会員は28名。職業・年齢・性別・支持母体など様々な構成員により活動している。

会の中には砂防、森林・河川などの専門部が組織されており、多面的な活動を展開してきた。

会が発足した時の呼びかけ文には、「21世紀最大のテーマである、地球環境問題の中から身近な水や緑の問題を取り上げていく」「見学会・学習会を行い、専門家の話を聞き意見交換しながら必要に応じて行政に働きかけていく」「自然の中に入って川に生息する生物を観察したりハイキングを行う」「奈良井川松島橋下流の川の清掃、アレチウリの除去作業をして、多自然型川造りについて、学びながら治水と環境保全について考えたい」などと記されている。

これらの主旨により、会設立以来、溪流復元工事等行政への要望・働きかけや話し合い、奈良井

川や各地での水生生物の現地調査、さらにシンポジウムなど各種イベントの開催などを実施している。治水も大事であるが、全国一律の開発よりも地域の実情に合った開発が必要ではないか」と語る会長の常田長時さん。今後は「親子で参加できるような生物調査なども行っていきたい」。

なお、本年11月21日(日)には、会発足20周年記念として、慶応大学教授の川村晃雄さんの講演会を予定している(午後1時開場・会場未定)ので、市民の皆さんへ参加を呼びかけている。

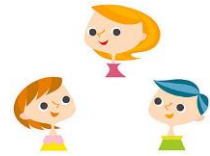


島々谷での観察会

ボランティア募集

ボランティア情報紙「こてまり」の編集委員（ボランティア）として活動できる方を募集します。取材や写真、イラスト等が好きな方、ぜひお待ちしております。

- ◆募集人員 若干名
- ◆活動内容 年4回発行するボランティア情報「こてまり」の企画・取材・編集等
- ◆資格等 松本市内在住で取材活動が可能な方
- ◆その他 交通費支給
- ◆お問い合わせ 松本市ボランティアセンター Tel:25-7311



アースデー東京出展報告

～「水と緑の会」と「溪流保護ネットワーク・砂防ダムを考える」の共同出展～



去年に引き続き代々木公園のイベント広場でのアースデーへ出展をしました。今回の出展はパタゴニア日本支社の企画によるブース提供（フリー・トゥ・フロー 川と流域を守る）への募集に応募して出展が決まりました。この催しは毎回15～16万人位の来場者があり松本のイベント規模と大きく違ってきます。また、規模の大きさもさることながら内容も各種ジャンルが豊富で、多種多様、まさにお祭りの様で一見の価値があり、日帰りでも楽しめるのでぜひ参加してみてください。

今回は各環境団体の出展（設楽ダムの建設中止を求める会、たまあじさいの会、村山嘉昭「川がき写真展」、ハッ場あしたの会など）の各ブースと3団体（パタゴニア日本支社、水源問題全国協議会、川辺川東京の会）合同のトーク、演奏、講演などの多目的ブースの設定でした。生演奏やトーク、各種発表の多目的ブースはざっくばらんのやり取りができて面白い企画でした。もちろん私たちの会からもパワーポイントを使いながらの発表で多くの人と交流ができたと思っています。

私たちの展示ブース（写真左）では、栗の木林道問題、牛伏川砂防改修、霞沢砂防ダム建設見直し、砂防



問題、イワナの種類、川虫などを展示し多くの来場者に説明することができました。皆さん自分の目当てや目的を持って訪れるため、突っ込んだ質問や議論ができ大いに説明のしがいがありました。しかし、来場者が多く2人だけの対応では声がかれてくるのが難点であったかも？持参したチラシも感心のある人にだけ渡すつもりだったのだが、ほとんどはけてしまい足りなくなったほどでした。

今回、世の中変わってきたなあと感じたことは、欧米人、韓国人、中国人など外国人の来店があったことでした。外国語に不慣れな私にとってはまっ青、しかし、彼等の国も環境問題に関心が集まるようになってきたことからみて、砂防などの問題が世界的な問題として扱われる可能性があることを感じました。他のブースと比べると店構えが地味であること、スタッフの数が少ないことが今後の課題だと思われます。語学の達人な人、良いアイデアや手伝ってくれる人があれば募集したいですね。

最後に、ブース展示費用の負担やこのような企画をしてくれたパタゴニア日本支社に感謝します。

溪流保護ネットワーク・砂防ダムを考える会代表 田口 康夫

問合せ：溪流保護ネットワーク・砂防ダムを考える会
Mail : taguchi@matsumoto.ne.jp
HP : http://www5.plala.or.jp/Y_YUKI/SABO/

イベント情報をお寄せください。

センター通信やホームページで、皆さんのイベント情報や募集情報などをご紹介します。
多くの皆さんから、多くの情報をお待ちしています。

トラウマの正体ってなあに？

もしかしたら、誰にでも思い出したくない出来事があり、その時の記憶にとらわれているために起こる行動というものがあるのかもしれないですね。子どものトラウマ・おとなのトラウマについて一緒に学んでみませんか？今回は、トラウマの正体について学び、次回（6月または7月）に「トラウマが癒えるとはどういうことなのか」について学びたいと思います。

- ◇日時：5月22日（土）13:00～16:00
（受付開始12:30）
- ◇場所：芳川公民館 2階大会議室
- ◇講師：山梨県立大学人間福祉学部
教授 西澤智先生
- ◇参加費：500円（資料代として）
- ◇託児：1人300円
- ◇主催：子どもの心身共に健康な成長を願う親の会
- ◇問合せ：野見山 TEL/FAX: 0263-33-7257

楽団「ケ・セラ」 第7回定期演奏会

障害を持っている方が社会的に自立することを目標に頑張っている「楽団ケ・セラ」と、障害の有無に関係なく、音楽を純粹に楽しむことを目的にした「ケ・セラⅡ」の定期演奏会です。

- ◇日時：6月6日（日）
開場13:00 開演13:30
- ◇場所：松本市音楽文化ホール 主ホール
- ◇参加費：無料
- ◇主催：NPO法人 ケ・セラ
- ◇問合せ：ケ・セラ塾 TEL: 0263-57-6329
E-mail: email@npo-que-sera.org

新任職員紹介

- ◇協働推進担当課長
清野 陽子（市民課より）
- ◇協働推進担当係
小岩井 一樹（新規採用）

～どうぞよろしく～

がんを知る勉強会

体の自然治癒力を最大限に活用する漢方の考え方と方法を学びましょう！

体にゆっくり、やさしい漢方を生活に取り入れてみませんか？

- ◇日時：5月23日（日）13:30～16:00
- ◇場所：松本中央公民館（Mウィング）
- ◇参加費：一般1000円 会員500円
（事前予約制）
- ◇主催：NPO法人 ラ・ヴィアン・ローズ
- ◇問合せ：重信 TEL: 090-4728-2853

松本国際ふるさと祭り

第1回こいこい松本

～Mウィングに世界の文化が集結～

外国由来の人とのコミュニケーションや、外国由来の人同士の交流を通して世界の文化に触れてみませんか？

民族衣装のファッションショーや世界各国のダンス、音楽など、見て楽しむことはもちろん、一緒に参加して楽しむことができる企画が目白押しです！また、参加団体のプレゼンやブース展示、各国の方による自国紹介といった催しも予定されています。会場には、カレーやブラジル料理、中華など食事コーナーもあり、観て、知って、食べて、多文化に触れて理解を深めましょう！

- ◇日時：6月27日（日）10:00～17:00
- ◇場所：松本中央公民館（Mウィング）
- ◇主催：第1回こいこい松本実行委員会
- ◇問合せ：ギリス真由美 TEL: 0263-58-8977
中央公民館 TEL: 0263-32-1132

編集後記

新しい職場で、はじめてのセンター通信の企画編集作業でしたが、関係団体やスタッフのご協力で22年度最初のサポートセンター通信を発行することができました。

これからも親しみやすく読みやすい紙面づくりを心がけていきたいと思っています。どうぞよろしくお願ひいたします。〈K〉

